

シルバー *Silver* しながわ

28年度の新しいスタートです。

すべての会員の皆様が新しい気持ちでお仕事を続けられますようお願いしております。

今年度こそ事故が1件でも減るように皆様のご協力をお願いします。就業途上の注意、就業中のKY（危険予知）運動とつま先立ち体操を続けましょう。



春は新芽の季節です。東海橋から臨んだ目黒川、もうすぐ桜も満開になります。品川区シルバー人材センター本部は右手の方です。

近くの荏原神社の寒緋桜は2月上旬が見頃です。本部に来所されたついでにお立ち寄りください。

第4次中期計画の概要について

事務局長 久保田 孝之



現在、理事会においてセンターの事業計画の基本となる第四次中期計画について鋭意検討をしています。今回はその計画の概要をお知らせいたします。

中期計画は、これまでの三次にわたる長・中期計画を総合的に総括し、時代の変化や社会の要請など今日の社会経済情勢を踏まえて、今後のセンターの進めるべき目標や道筋を明確にして計画的に事業を構築していくために定めるものであります。

今回の中期計画は、平成23年度に公益社団法人として再スタートして以来、会員の減少が顕著であること、臨・短・軽と言った請負・委託を中心としてきた仕事が派遣事業の導入や適正就業の関係で見直しをしていく必要があること、さらには経験豊かな会員の新たな

活用策の検討などセンターが今後取り組んでいく課題を抽出し、総合的に推進していくというものです。

計画事業としては、**第一に会員の増強を掲げております。**

会員数については昨年度と比較して2月現在44名の減と大変厳しい状況が続いております。この減少の要因は様々ですが、今後は企業等で退職になった元気高齢者の勧誘やシルバー大学受講生への呼びかけなどこれまでにない強化策を取り入れていく考えです。

また、現在の会員の維持策として健康維持増進セミナーの開催や体力測定会を実施してまいります。また、品川区の地域包括ケアシステムの開始にもないセンターも積極的に協力し、そのための新たな会員の募集を図ってまいります。

第二には、就業機会の拡大です。

これまでの地域コンビニ事業、家事援助について充実を図るとともに「ちよつとした仕事」「スポット的な仕事」など就業時間、場所に配慮して仕事を提供できる体制を再検討してまいります。また、この間、東京労働局やしごと財団からも適正就業の指導

を受けてまいりましたが、より適正な就業になるようガイドラインの策定をしていく考えです。労働者派遣事業法による就業については、今後、課題や条件を検証し進めてまいります。

第三は推進体制の改善です。

職群班ごとに会員の増強を図ってまいります。また、障子班については再度女性会員の募集を実施いたします。また、最近は特に未就業の会員など会員同士の交流の場が少なくなってきたところで、会員がお客様発注一覽や情報が容易に得られやすくなるように情報コーナーや会員同士の交流コーナーを本部や支所を中心に整備し、日常的な会員同士の交流ができるようにしてまいります。また、簡易なサービスを地域の会員同士がボランティアとしてお手伝いする「シルバーお助け隊」の設置を検討してまいります。

第四は就業の質向上のための事業です。

職群班を中心にこれまでも実施してきた技能向上や接遇、各就業現場の課題研修を継続する他、認知症など必要な知識を習得する業務研修を実施してまいります。また、新入会員研修ではテキストの再編集を行いスキルアップを図ってま

まいります。

第五は安全就業の徹底と事故ゼロを目指すです。

これまで何度もお知らせしておりますが当センターでの事故が依然として減っておりません。安全就業の取組みは手を緩めることなく継続強化していく必要があります。まず、職群ごとの安全就業ルールの確立と定期的な安全就業研修を実施してまいります。また、ヘルメットの装着を徹底するために安全就業のシールを貼って意識の向上を図り、昨年から実施してきた「つま先立ち体操」は全会員が就業前に実践するように周知徹底してまいります。

次にKY運動の継続として職群ごとに安全集会を開催し、就業現場での危険個所の洗い出し、点検、予防対策など事故防止に繋げていく他に二人以上の現場では指差し唱和を実践するよう啓発してまいります。

安全管理委員会の活動としては、安全パトロールの強化を図るとともにこれまで当センターで起きた過去の事故事例集の策定に着手し事故対策に活かしてまいります。

植木班については、昨年発生した死亡事故を風化させること

なく二度と転落事故は起こさないと強い信念を持って独自の取り組みを実施していきます。植木班の会員自らが独自の就業安全ルールを策定する、安全講習会は全員がもれなく受講する悉皆研修とするなど安全管理委員会との連携のもと取組みを強化していきます。

最後に大地震など大規模な災害等が発生した時に備えて公共性の高い事業の継続を図るため事業継続計画（BCP）を策定していく考えです。

第六は地域交流活動の充実です。

平成29年度は、当センターの設立40周年に当たります。そこで記念講演、アトラクション、記念誌、ロゴマークの制定など記念行事を実施してまいります。また、これまで大商業まつり、消費生活展などの催し物に参加してまいりましたが今後はより集客できるようにゲームを取り入れるなど展示ブースの工夫を図ってまいります。さらには、地域の福祉法人、NPOとの連携、協力を図るための活動を検討してまいります。

以上、第四次中期計画の概要を説明してまいりましたが、今回下表のように掲げている目標については、中間時点で到達度を点検し必要な見直しを図ってまいります。

第4次中期計画の目標

()はH26年度実績

計画期間 (5カ年)	平成28年度～平成32年度
会員増強目標 (人)	2,700 (2,575)
就業実人員目標 (名)	2,100 (2,201)
契約金額目標 (万円)	128,000 (127,964)
受託件数目標 (件)	16,500 (17,354)



なお、この中期計画は必要な各データを含めた冊子にして会員の皆様にも是非ご覧になってください。これからのセンターの発展のために「共働」「共助」していただきますようお願い申し上げます。

長年の経験で培った技を披露します。

センター技能班 塗装工事

昨年センターに入会し、塗装工事で活躍して頂いている会員の紹介です。

今回の現場では、錆や塗装の剥がれが目立つ古びた鉄骨階段を蘇らせました。

まずは「ケレン」と呼ばれる錆及び旧塗膜落とし作業から始めます。

次に下地が綺麗になったところで、下塗の錆止め塗装を施し、その後お客様の指定色で2度塗りをして仕上げます。

さらに踊場と踏代には滑りにくくなる塗装を施し、完成となりました。

まるで階段を新設したような仕上がりに、お客様は大満足。会員の見事な仕事ぶりが評価され、追加の注文やリピーターとなつて頂くお客様もいらっしゃいます。

工事前の様子



出来栄に大満足の
大井西地区 森信一郎会員

事故が依然として減りません。

その後の安全就業の 取組み

昨年12月に発生した死亡事故以来、当センターでは8件の事故が発生しています。マンション清掃中モップを取りに2階から1階に階段を降りる際に体勢を崩し手摺をつかもうと右手を出したが手摺が逆側でそのまま右腕から転落したものの、施設管理で工事中の体育館をパトロール中、懐中電灯をつけずに張ってあったロープに足が引っ掛かり前倒しになり顔面を強打し裂傷を負ったものなど、すべてがヒューマンエラーの伴った事故です。これまで何度も何度も、安全就業の中でもちよつとした油断・不注意などが引き起こす事故について注意を呼び掛けているものの残念ながら事故は減っておりません。このままの状況では安心して就業を続けることも難しくなってしまう。

しかし、こうした深刻な状況の中でも安全管理委員会では手を緩めることなく再発防止に向けた取り組みを継続強化してお

ります。

まず、今後は職群ごとの打ち合わせには必ず安全管理委員が出席して1・5m以上の高所作業で脚立の使用の際は安全就業基準に従い適正な使用の徹底を図る。つま先立ち体操を全ての会員が就業前に実践してもらえらるよう啓発を続けていく。さらには、KY運動として指差し呼称や指差し唱和を職群会議の中で訓練し、事故予防に活かし



指差し唱和を訓練中の喫煙マナーアップ班
左から大網、斉藤、渡辺、遠藤会員

ていこうと考えています。「恥ずかしくてこんなことできるか」「こんな役に立つか」と思われる方もおられるでしょうが、実際に事故にあつて大きなケガをして苦しんでいるのは当事者本人です。

「なぜあの時もっと注意していなかったのか」と反省してもその時ではもう遅すぎるので、後悔だけが先に立つことになってしまいます。予防に優る対策はないのであります。

最後に、平成28年度にはセンターで実際に起こった事故事例を集約して、どのような背景の中で事故は起きたのか、その原因分析をして今後の再発防止対策につなげていくという「品川区シルバー人材センター過去の事故事例集」策定に着手してまいります。

今後とも、会員の皆様には事故は絶対起こさない、事故に巻き込まれないという強い決意のもとに就業に臨んでいただけるようお願い申し上げます。安全管理委員会も皆様と一丸になつて、事故0を目指して奮闘してまいります。

植木班 死亡事故を受けて

平成27年12月2日、植木班の会員が作業中の事故で尊い命を失いました。

事故後、12月16日に緊急の安全管理委員会を開催し、事故の概要説明と原因分析、今後の対策について話し合いました。

12月18日には、植木班全員参加で緊急の安全集会を開催しました。事故概要から考えられる原因をそれぞれの会員が自発的に洗い出し、今後の仕事において改めて注意する点を見直ししました。

2月9日には保険会社から事故分析のプロがセンターを訪問し、何故事故が起こったのか、再発防止の為の有効な施策は何なのかなど、意見交換を行ないました。

3月16日、17日には植木班と除草班を集め、安全講習会を実施しました。ヘルメット・安全帯着用等の徹底や、体調管理の徹底、危険予知運動の推進など今後の体制について説明が行なわ



「安全の誓い」を朗読する杉山会員

れました。座学の部では、実際の事故事例やヒヤリハット事例をもとに、作業現場での危険予知の重要性を学びました。最後に植木班代表による「安全の誓い」を全員で唱和し、二度と死亡事故は起こさない決意のもと安全就業の意識向上を図りました。実技の部では、梯子類の正しい使い方や、ロープの正しい結束の仕方など、基礎を見つめ直す講習となりました。

4月以降最盛期に入っていく植木剪定作業ですが、安全は何よりも優先する事を心に刻み、重篤事故を二度と繰り返す事の無いよう取り組んで行きます。

今回はKY活動の実践その3についてお話しします。これまで数回に亘ってKY運動について紹介してきましたが、今回は、タッチ・アンド・コールについてお話しします。タッチ・アンド・コールは、バレーボールや野球で選手が手をタッチしたり、肩を組んだり、声を出して指を突き上げたりして気合を一致させる行動を見たことがあると思います。これは指差し唱和の一種で全員のスキンシップでチームの一体感、連帯感を高め、チームワークづくりに役立ちます。

危険予知(KY活動)の実践その3について

安全の誓い

品川区シルバー人材センター植木班は、平成27年12月2日に発生した会員の痛ましい死亡事故を決して風化させることなく、「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、組織一丸となって、二度と同じ事故を繰り返さぬよう安全就業を徹底し、事故0を目指す。

- ヘルメット・安全帯の着用を徹底し、安全第一で作業しよう
- 日々の体調管理に留意し、万全の状態で作業しよう
- 事故未然防止のために危険予知運動を徹底しよう

平成28年3月17日
公益社団法人 品川区シルバー人材センター
植木班 代表 杉山光雄

昨年の死亡事故の反省を含めて、二度とこのような不幸な事故が起きないように改めて安全就業の取組みにご協力をお願いします。

手重ね型(4~5人以下)

- 円陣をつくる
- リーダーは左手を上向きにして中央に差し出す
- メンバーはその上に左手を下向きにして重ね合わせる
- 右手人差し指で重ね合わせた左手を指す

同時に大脳の欲求や感情を司る旧皮質に良いイメージを叩き込み、ウツカリ、ボンヤリを防止するのがねらいでチーム活動のメリハリをつける時などに活用します。

事故、災害の過去の事例からも多くはヒューマンエラーが伴っていると言われております。危険と感じる感受性や一人ひとりの安全行動を高めて行くためにも、KY活動の継続が必要で、一人ひとりが「自分は決して怪我をしない」「仲間からけが人を出さない」など無意識に安全行動をするように就業に従事している仲間同士でタッチ・アンド・コールを実践しましょう。

チーム① 私の安全行動
危険予知 行きも帰りも職場でも

チーム② 事故0を目指して
「危ないよ」その一声が危険予知

1月25日 本年度の安全標語表彰式を行いました。

最優秀作品
松原 孝一会員 (写真右)
加藤 弘会員 (写真左)

安全標語
優秀作品表彰

上段左図はKY活動の研修会でやっているタッチ・アンド・コールの例です。

● **タッチ・アンド・コールのやり方**
指差し唱和と同様、リーダーの「ヨシ！」に続いて、全員で「ヨシ！」と指差し唱和をします。

新年地区全体会の様子

講演

「マイナンバー制度について」

1月20日

戸越地区

中小企業センターにおいて
参加会員60名

今回、区から担当職員をお招きして昨年末からスタートしたマイナンバー制度についての講演を行いました。マイナンバーの主なメリットは、①正確な所得確認ができるため、社会保険料や税に関する公平な給付・負担の実現 ②災害対策の際の要援護者リストの整備 ③年金手続きの簡素化などだそうです。

また、個人番号カードについては、申請は義務ではありませんが顔写真が入るため本人確認の証明としても使え、いずれはコンビニなどで住民票の写しや印鑑登録証明書が取得できるようです。申請は郵送または区役所3階の特設会場で手続きができるとのことでした。

しかし一方で新手法の詐欺が発生する可能性もあるそうです。

- ①マイナンバーをかたり、口座番号や暗証番号を聞く。
- ②所得や資産、家族構成などを聞く。
- ③お金やキャッシュカード、代

金を請求する。このようなことは区などでは一切しておりませんので、万が一電話や訪問があった際には冷静な対処をお願いしますとのことでした。

会員の方からも、基本的なことが分からないとの質問が多く出され、活発な講演会になりました。

品川区

マイナンバー・コールセンター
0570(66)6825



講師 品川区情報推進課 柳川氏

各地区のこれまでの歴史などを取り上げていきます。 第3回

品川北地区のこれまでの歩み

品川北地区委員長 野口 サチ子

東海道五十三宿、一番目の宿場

品川は、平安朝の時代よりその地名があり、鎌倉・室町時代には、江戸湾の重要な港として栄えました。徳川氏が江戸に入り慶長六年(一六〇二)年に東海道五十三次を定め、品川は第一の宿駅となりました。

沿道には由緒ある寺社が多く、古くから七福神が祀られ、昭和七年に品川が大東京に編入された記念として、東海七福神初詣を定め今日に至っております。

北品川口より旧東海道に入ると、江戸時代には宿内きつての

土蔵造りの旅籠屋「土蔵相模屋」

が有り、幕末には薩長の志士達の謀議の場所でありました。

その先には、かつての品川宿本陣の跡地が現在の聖跡公園になっております。第一京浜に面しては品川神社が有り、古くは源の頼朝の時代にさかのぼり、將軍徳川家の庇護を受け南の天王荏原神社に対し、北の天王と呼ばれています。

南の天王荏原神社の「かつば祭り」の由来は、一七五一年青物市場に野菜を運ぶ埼玉原の農夫が、神面を拾いあげ寄木神社に奉納しました。年一回の神面を海水に浴びせると、のりの豊作、豊漁になると云うことで

海中渡御が始まったとの事です。神面は荏原神社に奉つて有ります。

北品川橋の南側には、目黒川の旧河道の一部が残され、現在では釣舟、屋形船等の発着場となっています。近くには埋め立てる以前に鯨が捕れたとの事で鯨塚が有ります。その又近くの台場小学校には、幕末に台場(御殿山砲台)が築造された事に由来して砲台の石垣で造った灯台が建てられています。

品川北地区は、現在約三百名の会員が各々の仕事に従事し各行事に参加し協力いただいています。最初の頃は、品川北・品川南は合同でしたが、徐々に会員数が増えたので、平成十二年四月に品川北・品川南地区に分割再編し地区活動の充実を図るようになりました。

北と南に別れてもお互いに助け合える事は助け合って会員同士の親睦を図って行きたいと思えます。



南天王荏原神社 海中渡御

健康診断を受けましょう！

センターの目指す「生涯現役」のためには、健康な体を維持しながら、働き続けることが大切です。無病息災に越したことはありませんが、気持ちは一病息災と思いい、年に一度は健康診断を受診し、自身の健康を確認することをお勧めいたします。

国保加入者の方は、年に一度無料で「国保基本健診」が受診できますし、品川区のがん検診や成人歯科健康診査等もご活用下さい。ケガをしない体づくりも重要です、つま先立ち体操を日課にしていただき、病気やケガに負けない体づくりを目指しましょう。



会員さん趣味のコーナー

ウクレレ演奏で豊かな人生、仲間づくり

荏原地区 佐布美枝子 会員
戸越地区 加賀見雅晴 会員

私がウクレレを始めたきっかけは、平成19年6月頃に何か楽器を弾けるようになれば人生がもっと楽しく豊かになるだろうと思いい、さらに軽くて小さなウクレレが小柄な自分に向いていると思つたからです。始めた頃は思つていたより難しく、弦を指でしっかり押さえないと音が擦れてしましました。今でも難しく感じている所です。ウクレレの弾き方のコツは力まないことです。また、魅力は完璧に引けなくてもそれなりに聞こえるところです(笑)。

ある時、友達の友達からのお誘いで、現「ウクレレひまわり」というグループを知り、加入することにしました。ウクレレを通じて友人が増えました。私の他に加賀見さんという会員さんも所属しています。そのグループは年に数回高齢者施設からのリクエストに応じて赴き、演奏を披露しています。私は加入して半年ぐらいから施設を回り、過去10回ほど披露しました。観客の方から「よかったよ！」と笑顔になってくれる様子を見て、とてもやりがいを感じ、私も嬉しくなります。

シルバーになつたら、働くこと、遊ぶこと、体を動かすこと、楽しむこと、現役の時にやれなかった趣味を見つけること、それが生きがいや健康増進につながると思います。どれもほどほどが一番ですが(笑)



佐布会員(左から4番目)

会員さん趣味のコーナー

水彩画サークル『椿の会』

大井東地区 伏見桂子 会員

このサークルが始まったきっかけは、私が幾度か小さな個展を開き、観に来られた知人の人達が、自分も描いてみたいと言つて集いだしたのが始まりでした。

気軽な気持ちで始めた方も、いつの間にか、回を重ね、描くほどに奥が深いことを知り、虜になつてしまうようです。自宅で描いた絵を持ち寄り、サークルで完成させる熱心な方もおられます。

このサークルは、始めてから四年目に入りましたが、皆さんまったく気軽に自由に楽しんで描いています。

私もこの水彩画の魅力にはまり、長い年月が経ちました。この間、人より少しだけ絵筆を握る時間が多かったことが幸いして、初心者の方たちに助言できるようになりました。私も教えながら教わることが多く、とても勉強になります。

『南大井文化センター』で毎月第二、四水曜日の午後一時～四時、集つています。初心者の方大歓迎で、月一回のみの出席でも参加OKです。絵を描く楽しさを一人でも多くの方に知っていただけると幸いです。



平成28年度定時総会のお知らせ

日時 6月10日(金) 1時30分
会場 きゅりあん大ホール

定時総会は、定款に基づき年一回開催され、平成27年度の事業報告、貸借対照表などの決算状況を承認することになります。

また、この度、第四次中期計画でお知らせした通り、会員の皆様が無気でこれからも就業できるように現在の身体能力がどのくらいあるのか自覚してもらおうため「体力測定会」を初めて実施する予定です。

この機会に是非とも定時総会に出席され受診してみてください。

安全就業ベストを貸与します

4月以降、各支所、支部に用意してありますので、最寄りの事務所までお越しください。このベストは、反射材がついていて、もらい事故の防止にも繋がります。サイズは大・中・小あります。



新規採用職員のご紹介

4月1日付採用



在厚支部 志村 直朗

会員の皆さま、初めまして。このたび品川区シルバー人材センターに就職させていただきました。志村直朗です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私は品川区で生まれ育ち、小さな頃から近所のおじいさんやおばあさんにお世話になっておりました。このたびの志望動機は、今までの感謝の気持ちを人生の大先輩である地元の品川区の皆さまに少しでも恩返しをさせていただきたいからです。私が皆さまにできることを一つひとつ大切に对应し、皆さまの今後より一層活躍できるようにお手伝いさせていただきます。私を見かけましたら、お気軽にお声掛けいただければ幸いです。

皆さまには大変お世話になると思いますが、何事にも一生懸命に全力で努めますので、ご指導くださいますようお願い申し上げます。

職員の人事異動

4月1日付次長昇任

菅井 竜也
ゆたか主任 ▼ 東大井支所
所長付次長



4月1日付異動
中俣 勝太郎
東大井支所 ▼ 本部

三樹 秀和
荏原支部 ▼ 東大井支所

就業相談

仕事のことや職場の悩みなど、理事が相談をお受けします。

- 四月十四日(木) 午後一時～午後四時
本部 本多 理事
荏原支部 門馬 理事
- 五月十二日(木) 午後一時～午後四時
本部 伊藤 理事
荏原支部 和泉 理事
- 六月 九日(木) 午後一時～午後四時
本部 門馬 理事
荏原支部 本多 理事

会員総数

平成28年2月29日現在

2,531名

男 1,458名

女 1,073名

あとがき

平成二十七年の漢字(一文)は、「安」でした。あの清水寺の舞台で描かれた「安」の字には感動を覚えました。その時、私は「安全」ということを思い浮かべました。

私たちは、第三次中期計画の中でも「事故防止と安全意識の喚起」を取り上げ、毎年の事業計画の中でも「安全就業と事故防止」について具体的に提案されてきましたが、一向に事故は減りません。

「安全」は各々が自分で確立するものだと思います。不安のない人生のため日々自覚をして事故防止に努めましょう。

平成二十八年度4月の理事会では、第四次中期計画(五か年)が決定されます。冊子になって会員の皆様にお届けすることになっているそうです。センターを取り巻く社会環境は非常に厳しくなっています。会員の皆様も良く読んで理解してご意見があったら事務局にお寄せ下さい。

(担当理事 柳下 恭治)